

平成27年度 自己評価結果公表シート

フレンド幼稚園

1. 本園の教育目標

のびのびいきいきした保育の中で、未来を担う、「心」「知」「体」を育成します。
 「心」友だちから相互に学びあい、友だちと幸せを共有できる心を育てます。
 「知」自分で考える知力を育成し、子どもの無限の可能性を芽吹かせます。
 「体」「心」「知」の基礎になる、元気に遊べる健康な体を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員が評価項目に沿って、自己評価することによって、自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善等に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教職員の資質の向上を図る	自己の指導力向上のため、常に自己研鑽に励み、国内外の研修会には積極的に参加すると共に、その成果を毎日の保育に活かす。また、園内研修ではお互い公開保育を行い、指導風景を観察して、気付いたことなどを自由に意見交換したり、学び合う機会を設け、保育力向上に努めた。
未就園児活動の充実	子育て支援活動の一環として行っている「フレンドクラブ」の活動内容がさらに充実したものになるように努めた。また、地域の未就園児を対象として、「園庭開放」、「親子教室」などを積極的に行い、親子で楽しく触れ合える機会と場を提供できるよう努めた。
教育環境の充実	園舎内外の整理整頓に心がけ、園舎内の清掃は、教職員だけではなく、定期的に専門業者による清掃も行い、園舎内の衛生管理を徹底し、清潔で安全な環境維持に努めた。また、園庭整備計画により園庭全面に芝生を植え、快適で優しい園庭活動ができるよう、保育環境の充実にも努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、各自が適切に自己点検、自己評価を行うことで、自己の課題、園としての方針を明確にすることができた。また、今年度中に目標に達しなかったところ、不十分であったところについて反省を行うと共に、今後も幼児の成長発達のためよい援助ができるよう努力したいと考えている。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
運営方針・教育目標の周知	園としての運営方針・教育目標を明確に示し、園として目指す教育、進むべき方向性を再確認することで教職員間の共通理解を深め、より良い教育活動を目指して取り組む。
情報の発信・公開の充実	ホームページを一新し、掲載内容がより見やすく、充実したものにすると共に、園行事の様子や具体的な保育活動の様子などを保護者や地域の方に広く発信しながら、子どもたちが自主性をもって取り組んでいる様子もたくさん伝えていくように心掛け、本園の保育活動に対する理解を一層深めていただけるように努める。
保護者への対応	スマートフォンやパソコンから簡単に欠席連絡・預かり保育の申込などができるシステムや通園バスが今どこを走行しているのかを地図上で確認ができるシステムや電話による緊急連絡網を廃止し、メールによる一斉配信システム等の導入に努める。
地域の未就園児親子を対象とした育児支援と広報活動の活性化	未就園児と園の教職員と一緒に遊び、関わりを深めて育児支援を行えるような体制作りにも努めると共に、イベント的な親子の遊びの場を設けて、親子間、幼児同士、保護者同士の交流が活発に行われるように努める。また、園庭開放だけではなく、園舎内の一部の部屋を開放し、入園前の幼い子どもが安全に使いやすく楽しく快適に親子で遊べる室内遊び場の環境整備にも努める。新たな情報を提供する場合は、ホームページやチラシなどを利用して情報を発信し、地域のたくさんの方に利用していただけるように努める。
教職員の資質向上	外部研修のみならず、積極的に外部より専門講師を招き、園内研修も実施し、保育者の専門性を高める教職員のさらなる資質向上に努める。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められている。